

作業療法学研究の実施風景その② (2023.3)

2023年4月5日

作業療法学専攻学生は、3年から4年にかけて卒業研究として
「作業療法学研究」を行います。

手指をスムーズに動かせるかということと記憶や注意といった認知機能との関連について調べています。あわせて、手指を動かすことで認知機能向上に効果があるのかについても検討しています。「数理・データサイエンスセンター」との共同研究でもあり、指の動きについてはカメラを用いて関節の動きを計測し分析していく予定です。

作業療法では手指動作を必要とするリハビリプログラムが多くあります。手指運動の特徴を詳細に捉えつつ、楽しくリハビリできるような指の運動も考えていきます。



工学部、海事科学部の学生さんがプログラムの
セッティングに来てくれました。



被験者はタッチパネル上で
手指のタッピング課題をします。